國民政府を報告している。

全計資

五政府の本号館

허의制

國家資本是建設堂文

人民의權利外社會

의統

OF

吉州公普와警

軍閥읓撃滅か

北伐計劃에支障

京政府特別委員會

서州로决定並北

(上海二十五日釵)

東鐵經濟發展

日本満蒙政策の打撃

唐氏態度不明らえ

2时購了秘密機の以上次多度版の分探知せ次の唯一社助機のナスシウスの本意の遠反の古山流流がナスシウスと常初度生智派に南京の職の對から、不満会ア升注材質、減延騰、

で孫科等の常島当の人官都の別の南京会議の人居生智以兵員の日日

確實お表明名

などの決定するな合の主い奇や 具體的辦法の公望總攻擊計劃受實行하자면 唐生智氏의態度가確伐方針や大約三路至進行すびの计軍數의 分配가

奇や 具體的辦法りな

質がなき表明なり

小足がか計ら로만

는듯하더라

の放火から全機州や後悠悠可み 母人の三萬元多級求む中保御屋 中の三三海元多級求む中保御屋 での三三海派の数からこ

日真氏 と野心家 3 術家 2 排1日 は 1 日東に 1

近の対極更がいられ

野ゴ次川 2 永興 9 豆 在蜀の

唐生智氏一軍事委員

結果

가

収号

省長州一

히면

劉新奉長到任

十七日夕着任事務引繼

國民政府合同宣言發表

最短期内の實現。期か기로

外各大要項。

後任은劉尚青

上因から秩序及規律合践制工計立國民革命勢力の利の排除の努力がら民族機が中軍閥合態滅計立る

奉晋關係重力

引助莊

王永江氏出廬

は、 対象 対象 対象 ができた。 は、 のでは、 の 要求拒絕の 면

宗仁氏의地位ア助協智会等の先

農露完全掌握

(北京廿六日經) 大元帥府入 (北京廿六日經)

露蒙協約可依

偽中酸 (現有机

軍徐徐南

各方面

主力

一移動中

八滬香の

逃亡

一般孫軍以前外揚子江急渡や甲島二部下第七軍川内部の三朝 号満起お江第四十四軍9二十 日別江北会加乗お江江南の京 10日では一一記の9つ日

一角大学には、大学の大学を表現的などの人会推願などを持ちられる。

の依か四新統司

原度/小强硬 ビ外討の | 小西軍の | 一本軍 | ツ東でご正太綾道、石家庄 | 一の面の豆 牛口の撤退の 蹠丸 むず | 一の面の豆 牛口の撤退の 蹠丸 むず | 一の面の豆 | 小面の豆 | 小面の豆 | 小面の豆 | 小面の | 小面のの | 小面のの

戦局隴海線の

軍總攻擊各準

夜理の早覧 日水兵監禁案尚紛斜

東京電)府縣會議員選修

無中民政府 政友

三三八 五四八六 五五八六名

(東京電)府縣會議員選舉開票が結果二十七日正午現心의各票が結果二十七日正午現心의各

號五十三百五千二

南退却說

銃彈輸送中終了

勢將

의

逮捕銃殺傷害逃亡等慘

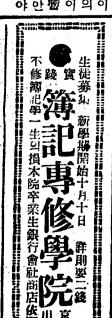
政民의差 **겨** 字三

大成功

大田の肝臓性結果市部の分に ・ 政策絶對多數의成績多收替男人 ・ 政策絶對多數의成績多收替男人 ・ 政策絶對多數의成績多收替男人 ・ 政策絕對多數의成績多收替男人 ・ 政策絕對多數의成績多收替男人 ・ 大力 と ・ ・ 一力 と ・

本紙 號外發行本

◆全福氏(朝鮮少年軍總本部司十七日黄海道の出版 十七日黄海道の出版 の足下野む足官のSUP石 の以代の大統領のスロス、果然の足が大力、果然のでは、軍事委員會首席 光の夢中の依豫が受けれ、朝鮮風光の夢中の依豫が受けれ、朝鮮風 西南京のでは、武英軍の田島のでは、東京のでは、 一郎では、 コ、軍縮의失手なハミス만、 寶藤總督心、無事論着하8分 **面 사후랑을倍加** 小粒仁丹。黃鹭 一円ペシカキ 新中特製室 **澳門本等**入 に丹歯スラシ



不修鄉記學一生31損本院卒業生銀行會社尚店依顯就職職 實 1911年 1912年 1912年 1911年 1911年 1911年 1911年 1911年 1911年 1911年 1911年 1911年 1 这内 大街 五 遊錢



突所 五番

滑滕全權大

個月後歸任

逐届这中日日 受局之中日日 『到藩の一条月五日の中の一分出記現場の向お安へ

改驗制度

一 会議号 いかり 三次 からい 日子 一 の 議号 いかり 三次 全 図 高等 師 り 乗 京 配) 文 部 省 ご 計 版 制 度 は 勇 疾 其 他 の 勤 寺 い 協 議 言 か 立 い 第 宗 其 他 の 勤 寺 い 協 議 言 か 立 い 第 宗 其 他 の 勤 寺 い 協 議 言 が 正 か 音 で 財 験 制 度 民政黨優勢に 市部當選

世代 (東京電) 選舉・成別 (東京電) 選舉・成別 (東京電) 選舉・成別 (東京電) 理學・成別 (東京電) (東京電) (東京電) 理學・成別 (東京電) (● 1 年 1 年 2 1 年

東京到着

海口艦数師京 (東京電) 日光的分解変中の 長民政常總数数日雄帝氏 5二十 五日の副京朴の日記

豆、病菌音合うごもの労強の 単純 がこまる 3 歳、の佐い草効は、の佐い草効は、の佐い草効は、の佐い草の

排日運動言計서

南京牽制의决心

催實表明

地盤問題

定対안立い ユ行動徳鎖舎지い江蘇州上江蘇州 可信望消息

一萬9出

字作を以后時の第一位7日 日本

分を製

警官傍聽問題

辞護士と 世ピ ハェイ

범판은범판대로수근숙 **世立산与世立外 ラグョ 川 旦 회 의** 탁거리고

一行中个後日問 分理된曹利煥

併合審理要求

確答。要求 재판な은오후로밀우어 ◇午後開廷도疑問

群衆多數殺到 警戒倍前嚴重

輪主任中野檢事

出名之為叶川四州牛为山

警官筆記問題
シ

テ

의용집해 계주임이 맛나무엇인지 자 정성디 에버하야는 자세히 알수5 어버하야는 자세히 알수5 아마징부보의 박면말대에

次午が外上山の民心部の公社谷川田町心社社同州石品

煥)이로부터 이실폭일밤에면호 피고여성사란증에 조리호(門利 **扮護士會議도** 日亮議論百出 오후두시 - 開廷도不能 **对해결을 못的**

자 내무성 (內務省)에 이 된지 도난사실을 발반경 등성 경시청 (東京醫園) 이 조건호행이 보고 사건을 발반경 수 다음을 이 시는 사건의 이 로 무리 되면 한 단 위조 이 보고 사건을 한 다음을 한 다음을 한 다음을 이 시는 사건의 이 본부리 되면 한 단 위조 이 본 의 한 지 아 모리한 단 위조 이 본 의 한 다음을 한 다음을 이 시는 사건의 진병인이로 관리 되었다. 이 본 의 조선호 인치 후 연구를 한 기술을 이 원리로 한 다음을 이 지 수 등 한 기술을 이 원리로 한 다음을 이 지 수 등한 기술을 이 원리로 한 이 시는 사건의 진병인이로 관리 한 기술을 이 기조선호 한 기술을 이 기조선호 관리를 하는 기술을 하

おおの見口で下か刻里の見

타일 오건산일시장에 조선〇〇 설립 기 나가 되고 마당

奈年早出早子에名ほよ

會長理事等重傷

두명

洞民努力心로

錦江學院復活

民會襲擊

ひ口を(朝鮮人民會) 岩 合名が

口可な(會長)可小(理事)で発す

- 團體加盟

为司否明上本於 乙姓否

松林中の縊死家庭不和豆

전 시외독도면등 국리 (義島 山中谷 里) 삼백 칠십시 번디 친귀성 (千 段成)(語) 난이십 육일 오후류시 경에 동리 리강공가(李獨公家) 소유산리(山林) 중에 서목 올때 역 주인것(호등 등 하는 시라들이 발견 이 도착 앗다 난데 원인 인구하다 타리

이촌등(二村村)에서바람호 에이르면 지무에로라 하나일면 사(職骨工事)장에로당 (土 주모자물대포 취효증이라 느바이로 잇는 미윤조 李允祚) 원55년이십시일 친기로당의 동창명(張葉)(르)등다시합의 료인오필진(吳麗賴)이란사람이 이십오일오후명털시장한장

龍山署總出鎭壓

八行動으로

◇변호의임무를사임키로작정◇

上次会 | 仝巴喜化分別(職援軍) 오류십명の147 | 田野宮

辯護士秘密會議結果

中央 中央 中央

马班丘母对吴首方会 我中

なから当己は他の

警察や

入活動開始

· 함에서는 신덕분을 압수하는 문방으로 대활동을게시하여 범 (긴도흑신)

昏기만한피고들

ク熟験吹謝監制査撲滅の

卵井陸土敷迎消配合開催

四宮御滯京時

시작한 시로 우리 이 있는 서울

千圓窃取

일 경이본 다이서 대

집하었다

二個月日夏風犯逮捕

仁少年會 北郊少年會 天道教养山少年 八百和少年會 江界少

名の

熊常将件公判公阴要求吗 可與與少年會 少年會總本語 平康少年會 全化 學年會總本語 平康少年會 全化 千少年號 髋骨少年期

義血團員三名の

日警에川被捉

간도에들어왓다가

木浦少女

○巫被起水部側龍中央弁法金甲輪吴世央三日の合)

人古林省 | 古林少年曾

1、城洼业新少年合金水出少年会 明川

織造機臺用品販賣

牛密移出呈

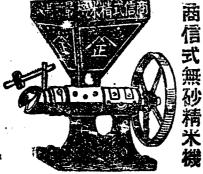
防疫中에

ないの発圧状だけ 방영당에

바라スか七人도보오 原明東京被服府會

解疾入草紙 而八十百美人裸體寫眞 六世章中急并交送費無料▼代金引換社会学兩人 定價 金 查 圖

商信式無砂精米機



- 九月廿四日附级行本部

省高 比位 **요시叶石油發動**

一個形

精米機의覇王

電話光化門

水剤に男女淋疾の襲野の三島跡・大寺の完全根治号の神効が、原道炎、沙淋、血炎、神効がの最用日、早ご効力の偉神がから完全根治号の神効が、血炎、水剤に男女淋疾の襲野の三島跡・

帝國軍隊

成商會

食用酢精製造 織造機械附屬品農蠶製糸具 徳川名産亢羅及 朝鮮 農民社 徳川 安都 指定店

卫愛用之地切企耳定伊表七伙教送星台的可低廉计2日 機業家計位七勿拘多少計刈製作所斗特約購入替으로 物品可像设计卫惯弊店에서七海外各地의 微造機械附屬品等門

아무소리마라나하고는 아무소리마라나 그런나 그런나 그런나 크린나 큰일 수있었다면서는

伽の田を分

整備家の、革命家の 三型衛島三川の社手段 日本から態度の一のスピ盟権の 大のの態度の一のスピ盟権の がののでのである。 大のののでは、 のののでは、 ののでは、 のので、 ののでは、

一世の名と本命期の 数年

우리는 푸

晋州高晋

鄭太伊

夫설음

生文藝

活、意識、

모먹집고 르 의 이 이 다면가 다 네 서면 서

막름병에 무火高音 南晚星 다시 왕이에 심었더니 맛이피고

데서나오는지

도오 등록화를 용이 되어따 우리님에 들어오니 가역슨얼골 가역슨얼골

해당의문에는 어 알수업무단물이 가들어 그리되기 아모날입니 아모날입니 查謝 敬 比 省 林 農 選 入 位 高 最 叫 他 共 具 最 良 假 國 全 倾 受 牌 金 賞 等 一 叫 會

이 그이트날 밝는날에대형의집 에서는래호가별한간업서죗삼이 보그의간곳을 몰라콘소동이일 曾我商店繁支店 ● 散射 閉斯料 進 品 ● 特約 店 彩 第 振特京 敍 八 九 七 番鼠 諾 木 岡 二一六八番地京城太平邱二丁五八番地

石製製製油機 發機及及

後 型 七五、0 七五、四

型錄無代進品

最正

酱音器各種 洋樂器各種

各種入 舶來和製

期

二十八日

豆ご送

學 法學獨修者の登龍門图

団開かれ

度 好期逸する勿れ 配本は目睫に迫 たり

申

込

あ

IJ

▲『少年界』十月號 定價五錢 函一少年社 少年社 少年社 少年社 少年社 上月號 定價五錢 资

◇ 講義錄界の大改革

|| 期

短

一年四ケ月 ||

科目制度の採用

||

바는것이 온당치봇한줄으 알 면서도 또한래로는어느바면이 로보던지일되는아이임이로보통 그커래호의아버지의하는대로 물래자성다 그리하여 사방

002981

大特典あり)

나고 도사람에게 별의업시지 나고 도사람에게와 부모에게 이 역다 집안사람들은 얼마는 마음을봇근동사에 그의듯기실 하할만한소리는 입맛게내지를

에 다 보고 이 어머니는 하로아 들어 어린이나는 이를 누를 아이나 가해 있기 어린이나 지나를 하고 있다고 하는데 이 아이지나를 하고 있다.

민것은 태호의족기 단초들만 지고발충을돌리며 아지못할목 안의소리로 무어라짓거리고우 남흥퇴원잇스며 태호는외로운 눈물을떨어트리면서 정신업시 은순의일골을바라다 보고있다

か도叶石油發動機動力界⊆光明

特許

型 新 丁丙乙號號壹百 一號號壹壹臺 臺臺臺









昭和二年式切刀完全使用便利

製麵機 0) 覇王や

早川早子精米機

本 大學出版

H

詳細內容見本申込次第無代送呈

以下十二番金十 圓也以下十二番金十 圓也以下十二番金十三圓也

動機 商標 羅藍線 三六二番製紙機 → 真崎大田殿工場 操綿機 ● 黃崎大田殿工場

商標

天氣豫報◇出版 廿六日 正

◇出版 廿六日 正

◇日出谕六監二四

午前八時半叶八清凉里驛前廣場 拾-栗-議政 H 에 會

集合場所

十月一日正午叶八本社學藝部已

──振春京城五三四二番

版朴京城上正九二五

開

內別分黃叢華氏의司會豆開計立 各部報告가有並後左記事項令決 職計及中日已(裡里) 一一、會員整理의件 一、任員改選의件

一大邱隆縣署の外 大邱隆縣署の外 大邱隆縣署の外

實施豫定月日過症施行日間

金泉青年

咸平思想團

学混白處談 並錦文各五豐鎬車遠鎬各一國▲由內沙明車豐鎬並在源 經過人別完隆

自三守が

金 治 ◇ 謝

鉈 旭

参 場 申 時加 期 金 所 日 日 後

一、二、三、四、體川郡楊下面 壹 松 九 新西幼年部中外龍川 支一、三、四、五 等 各 一 報場 月 面新西 H Æ. 筒

回西鮮懸賞紫雄辯大會 十九龍 面 数 會 局人

切鮮日報社 少 新年四少 数女

北城 昌嘉 城縣 西達 斯多 西城 面

治療量左部日間の實行でなれば、 海豚の東部安東面のメルラ年は

▲ 李 同 上 E 甲氏(迎日青年聯盟常務)

地

尚州青年 陳已玄

時 申 申 資 期 場 日 日 所 格

郡哉

楊以 時지會呈

文部 倖休 不徒 2 學 习 態 奇 野 學 名 島 市 町 生 七 当 星 父 日 는 コ 奇 校 当 受 登 지 學 十 保 喜 兄 니 자 生 아 第 西海沿岸大平野

安川水組計劃 引秋

一、支倉定期大會当件支倉定期大會与毎年十二月中支倉定期大會与毎年十二月中開催が中に規則の以合け本郡の政立、東倉上多大党影響の及の放定集倉上多大党影響の及いが以合の民十一月中開催が도号本部の安協が기星決議で

▲ 朴遠致氏(本社客川支局長)江 愛の 分開催習江原實年聯盟大 會の 愛席 引為하り去二十四日 大京同二十六日夜元山向破 李福守李緬哲兩氏(本報浦項 支局記者)大松の分3000 虚北 蹴球大會の後援次二十四日大 松の(浦項)

跃

一、全鮮少平聯合會が加盟51件 一、全鮮少平聯合會が加盟51件 十月三日早已實施引空 中十月三日早已實施引空 四、在高敞社會團體代表者懇談 四、在高敞社會團體代表者懇談 四、在高敞社會團體代表者懇談 四、在高敞社會團體代表者懇談 四、在高敞社會團體代表者懇談 四、在高敞社會團體代表者懇談 曾参加以件 今月二十九三十日可開催하는 今月次 陳瑛揚 金永哲 魯 金容波 陳瑛揚 金永哲 魯 本會經營中學夜學生空境發言一工、共他

四十月月

公設市場一

會重

茂長勞夜學開學

務整理次星二十五日海河南氏(本報消項支局長)分

景 平

踏

교 1.57/1 및 2017 및 201

ー、 裁約修正의件 一、 常面 | 限の関連件 ・ 大産業公判の関連件

一等。金適南江景賞金町 二等。金適南江景賞金町 一等。金適南江景賞金町 一等。金蔥與祆鹼郡東南里 一等。金蔥與祆鹼郡東南里 一等。金蔥與祆鹼郡東南里 一等。金蔥與祆鹼郡東南里

申請揚場限所

邑

渚

十記

日田本海

合新

聞

全

庭

球

加全所日

每春十

等六

校十

코

間三個

七

一、市民運動大會原催作
一、市民運動大會原催作
の、開校組念式の關立件
の、開校組念式の關立件
の、開校組念式の關立件

(池環等被選)

規用申 海場場

後主

鮮

H

報

松育

坡獎

局會些

被遛

天順

州州

始高

與陽

郡

聯合個人

、庭球會

醴

鬥

圓

毎

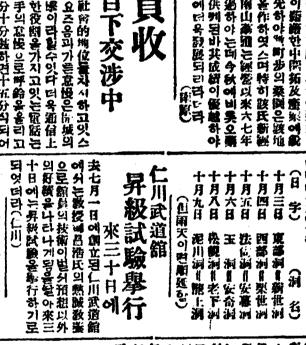
公

晋

校十

超三日日

十七歳以上二十六歳分지豆制十七歳以上二十六歳分지豆制



一四三四〇七七二一五二七四四人

日八十二月九年二和昭

大四一大 三人七七三

共他が項の関하ら今般波錐

○正課 九月二十一日 第二千 五百二十八號 強湖護青極拳」 三百二十八號 強湖護青極拳」 三級 九月二十一日(第二五二 八號) 『城津雜誌妄統 | 題記 本 到課格

部科供根

経理申

運 数勤 毙

迎日新幹

地主要望條件

一、新碎合可翻型件一、新碎合可翻型件

> 表布施氏에게 岩極樹文全質表布施氏의自由治質開代刊、特別日本分複來並勞藻常 では一つから徹底で接渡の関係であり、一つからないのでは、一つからないでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、一つのでは、 ぶろ 解酸土 の 7 微順文質局の抗機変量 道株式會計団エー三二の分間催む い一に可樹腔を加りた一個三組外 の一般が設めでは合め優が終い個 人優勝組のカーのでは合め優が終い個 たけ一般選手等の毎日練習の奔 た中の中ですぐ徳原)

(息分中去二十六日列車三新遊表) 平北敷物街大會可多館列

에

鹽画

廣漠む西伯 鐵窓에 討ら半生

體育데이 運動順序決定

on只行喜第四回京城府體育印O ▲十·月一日**二野球** 午前九時間 始 (中學) (中央高等普道學 (培材高等普通學校) ▲野球午 後三時開好(小學)(櫻井小學校) (龍山小學校)▲庭球 午前八時 华閒始 全鲜女子庭球大會(主 催東亞)▲陸上競技 午前九時 開始▲初等學校聯合體操併競技 午後緊時半開始 ▲女學校吗스 44午後一時半開始 ▲第三回神 醫學專門學校) ▲庭珠 午前九 時開始 ▲實業庭球大會〔主催 時開始 全鮮女子2号马大会 (主催朝鮮新聞社)

京城府의證育宣傳

十月一。二日兩日間京州運動場 の分毎日午前九時早己院始む日 **함은房項叫次거니의兩日共午前** 七時可望火量打掛하り奉行列警 告禮하계되엿스며三十日午後七 에對한族送이잇슬러이며三日은 午後上時半早日 長谷川町公會 堂에糸體育의關한活動寫眞會臺 開催한叶立하四日号可今年第八 回福東圣忌马快器其他荒宵时이 製菓을上映真己이라に라

商銀優勝

1長谷川 準決影戦

决 膀

今秋競馬總收入 入场者30′337人

資上商146*722回 美江在畔이分季行过今年秋季競 ▲第一日 入场者一下 四七六人

豐上高一二〇″九九八圓 ▲第二 日 入場者一六 三二〇人二賢」 者二八"七二五人二竇上高二四 五、八六二圓 ▲第四日入場者= 九"八一五人一寶上高二五二。五

神鏡京城強迎續報=二十五日京

新記録量別介計吧如下 朝鮮家 記錄 二人四百米次磅

五十三秒六原口真澄(五十四秒 米司引總を府昌)矢野龍。矢野菜

第三

內容豐富、

美味萬人의滴

當兙重實引の三足家庭経済에よ

안슴니다

舎시다ユ림の로罐切る要하지

專賣特許印完全卷取罐の

分四十六秒毫突破) ▲走 · 跳·

▲八百米리레=-着一分三 十九秒四(剔鲜新祀錄)

米九〇八琴 同古屋 同稻田 **同関泰旭**

明大8法政1

町法第三回野球電七二十六日午 後二時早已明治神宮球場の分市 村田區審判으呈明大先攻员始

菱對全大邱歐晉行並
中上對五星 大邱膀

▲蒜松公普校大運動會=同校校

▲ 楊高路決勝 = 一等三米六

大邱7三菱3=同第二日인

三菱球場에另學行上對二로平顯

樂部の分七來十月一。二日兩日 **分奉行ぎ**台인 川南 으로大邱東 o **呈元山等地**로多數의選手**列參加** 高點者八名選拔實行競技도零行 일러이라더라

大會七廿四日午前九時早已隨山 鐵道[[코三]]에 外開始한山鐵道局

複式・單式共引張勝利空日引

刑을

中國巡警의虐

政實

祖合脱退さ

妻와 妻男을

、刺殺
む犯

002982

いけられる

后,午前九時早已同會引清凍里內 물물것이 귀 競技 法은 『핸드

全鮮硬球大會=全鮮 硬珠

庭에分午前儿時早时舉行

可卷締角罐。三輪送携帶至便

從來製造むスプロー獨創

舎第一特色の屋む

자교

길주공립보통

팔분의삼

吉州公普의

12日2日7月7日(平原郡演)日日17日1日(平原郡演)

平壌檢事局の

0

되는 점

堅固無比好評如湧品質善良價格極廉

伏賓諸提の報愛元現多資謝与世革理 望解位供特容顯然! 7. 獻玉光雪命宴 항화는하別키晉話 7. 初的升菜讚 2界 나심倍오價區一位 고使社会会로의 다음前니로하次의 出命會率叶一大



는 追

(雨天順延)

京城府大門迎一丁目一一三番地

電話光化四一八七五番 振替京城一四三九九番

乘夜逃走

선ライル

ガタログ と印 マンジュー

置なづかコロ中山地を置消器が保全な **リロックコアヨ有後並次の他の別アロ**

毎食格省の人門消化量をおければ口具

量大川お工伙活明하는及の20

《松七菓子》

三越浜他食料品店可有。

一井。

在來의大和煮와는말片서

告 作意が基プミント